

みんなで 取り組もう！

蚊の発生防止



蚊が発生する季節です。蚊はかゆみを起こすばかりでなく、感染症を媒介することがあります。日本でも、昨年8月に国内でデング熱に感染した患者が約70年ぶりに報告されました。これらの感染症を予防するためにも、日ごろから家のまわりに蚊を発生させないよう対策を心がけましょう。

蚊の防除のポイントは、3つあります

1 発生を防ぐ

2 侵入を防ぐ

3 刺されない対策

1 発生を防ぐ

～ 幼虫(ボウフラ)対策 ～

蚊の発生防止は幼虫から！

蚊の成虫は飛翔するため、防除が難しくなります。また、殺虫剤を使った成虫の駆除は一時的な効果しかありません。蚊の幼虫(ボウフラ)の発生しない環境を作ることが最も有効な対策です。

不要な水たまりをなくしましょう

蚊はほんの小さな水たまりに卵を産み付けます。ボウフラは水がなければ生きていけません。ボウフラを発生させないために、発生源の水たまりをなくしましょう。

こんなところが蚊の発生源です

放置された空缶など



放置された空缶、空びんなどは撤去しましょう

植木鉢の受け皿



受け皿の水は捨てるか、まめに入れ換えましょう

雨除けのシート



たるみ、くぼみができないようにしましょう

側溝



つまった側溝や雨どいなどは清掃しましょう

ペットの飲み水容器



まめに洗い、水を取り替えましょう

散水用の汲み置き水



雨水をためたらすぐ使うかフタをしましょう

2 侵入を防ぐ

～ 成虫対策 ～

屋内への侵入を防ぐ

- ・網戸を設置し、蚊取り線香などの利用を。
- ・玄関の扉や窓の開閉は素早く行いましょう。



草刈も効果的

- ・蚊のすみかとなる家のまわりの雑草などを刈り、樹木の剪定をして風通しをよくすることも効果的です。

3 刺されない対策



外出時は蚊に刺されない対策を

- ・蚊が多いところへ出かけるときには、長袖、長ズボンを着用し、できるだけ肌の露出を避けましょう。
- ・必要に応じて虫よけを利用する方法もあります。

殺虫剤・忌避剤(虫よけ)の使用について

- ・購入時に蚊に有効か確認しましょう。
- ・殺虫剤を使用する際は使用上の注意をよく読み、最小限に留めましょう。
- ・忌避剤は肌に塗って蚊の吸血を防ぐものです。使用上の注意を守り過剰な利用は避けましょう。

蚊の駆除等の方法については・・・

江戸川保健所 生活衛生課 環境衛生係

TEL(3658)3177 FAX(3671)5798